

中央大學員會大連支部故男 爵法學博士岡野學長追悼會

中央大學學員會大連支部に於ては故男爵法學博士岡野學長薨去の悲報に接したるに付謹んで弔意を表すべく大正十四年十二月二十六日(告別式當日)當地天神町常安寺に於て當支部主催の下に盛大なる追悼會を催したり當日參會者は當支部理事恩田熊壽郎外各理事及學員一同の外滿鐵理事大藏公望、同森俊六郎、滿鐵審查役石川鐵雄、滿鐵興業部長田村羊三、同人事課長入江正太郎、同社會課長小倉鐸二、同商工課長向坊盛一郎、鮮銀業務部長向井忠、朝鮮銀行沼田直俊、同平井大二郎、同高田友吉、同宮川企救生、同山本神勵、國際運送取締役小日

山直登の諸氏にして恩田理事總代として次の弔辭を朗讀し後一同燒香して嚴に先生の靈を弔ひたり

大正十四年十二月二十三日中央大學學長樞密院副議長男爵法學博士岡野敬次郎先生病を以て薨逝せらる哀哉痛哉超へて二十六日此地有志相謀り壇を設けて祭を致すに當り不肖中央大學學員會大連支部を代表し文を作つて謹て英靈に告く嗚呼先生何ぞ遽に此に至られしや是れ誠に國家の不幸と謂ふへし先生人と爲り謹嚴高潔にして風貌秀麗氣品甚た高し少くして帝國大學に學び法律學を修む天才の資質に加ふるに勉強の努力を以てし嶄然頭角を露はし卓然として儕輩を凌ぐ學成りて歐米に遊び益々斯學の蘊奧を窮め遂に我國斯學の泰斗と爲り法學博士を授けらる大學教授たる外學習院中央大學等を統督し薰陶する所の學生數千を逾へ名を成し顯榮に至る者亦少からず先生の殊に貴ふべきものは獨り學者として盛名あるのみならず亦實に政治家として特絶の偉資を有せらるるに在り顧ふに先生の學と識と又其の明晰なる頭腦玲瓏なり敏才と特に其の高潔なる品性闊達なる氣質は往くとして可ならざるは無く乃ち先生をして手腕力量を備へて德望有る英物とせしめしなり是を以て法制局長官樞密院顧問官たる外二たひ廟堂に立ち

て樞機に參し猷替の功を建てられしなり嗚呼亦以て
先生の大なり所以を知るへし

且つ先生の資性誠懇眞摯にして學生を指導し援助し
扶掖するの情は殆ど骨肉に過くるものあり故に一た
ひ先生の下に卵翼せらるる者先生を視るや嚴師たる
外慈父の如く慈母の如し是れ決して尋常教育家の爲
し能はざる所なる不肖等先生の鴻恩を受くるや大な
り此時此情悲み言ふ可からず謹て數語を綴つて哀悼
の意を表す顧ふに國事方に多端教育界亦其人を要す
る多し先生逝けり嗚呼如何せんや筆蹙まり胸塞かり
言ふ所を知らず

在天の英靈冀くは昭鑒せられよ

大正十四年十二月二十六日

中央大學學員會大連支部總代 恩田熊壽郎